

9月議会

伊勢町子ども園、ごみ焼却場民営化、産業廃棄物焼却場・・・市民に内緒で進めるのか

9 月議会日程			
8月21日(木)	AM10～	議会運営委員会	
8月22日(金)	〃	決算概要説明会	
8月26日(火)	AM10～	決算書類公開	
8月27日(水)			
8月28日(木)			
9月3日(水)	AM10～	本会議①	一般質問
9月4日(木)	〃	本会議②	一般質問
9月5日(金)	〃	本会議③	一般質問
9月8日(月)	〃	議員研修	市民病院
9月9日(火)	〃	本会議④	議案上程
9月10日(水)	〃	総務文教委員会	議案審査
9月11日(木)	〃	福祉健康委員会	議案審査
9月12日(金)	〃	経済建設委員会	議案審査
9月17日(水)	〃	総務文教分科会	決算審査
9月18日(木)	〃	福祉文教分科会	決算審査
9月19日(金)	〃	経済建設分科会	決算審査
9月24日(水)	〃	議会運営委員会等	
9月26日(金)	〃	本会議⑤	議案採決

参院選後の議会、
くらしどう守るのか

8月21日、9月議会に向けて議会運営委員会が開かれました。

7月20日開投票の参議院選挙から1ヶ月がたち、物価高騰、米不足、医療福祉の改善などが論じられた中、碧南市民のくらしをどう守るのが問われる9月議会となります。

傍聴不可。子ども園業者選定

日本共産党は、この間、伊勢町子ども園新設に対して「浸水地域につくる民間子ども園は子どもの命を守れない」と指摘してきました。市当局は市民の不安の声を無視して業者を募りました。8月25日(月)には、プロポーザル及び選定委員会を開催しますが市民の傍聴を拒否しています。



号地多目的グラウンドに強引に選定の前提で8月18日碧南市と高浜市の議員に「一般廃棄物処理体制の検討に係る民間業者へのサウンディング調査実施要領」が明示されました。事前の知らせもなく参加申し込みの期限を8月18日～10月3日までとしています。この中には、調査シート」として「処理対象物の種類」として「両市の一般廃棄物以外も取り扱いたい」「産業廃棄物の種類、+/-日」も回答を求めています。

行政は「産業廃棄物の処理」は行なうことができません。碧南市、高浜市以外のゴミまでごっちゃにしたのでは責任が持てません。こんなことを行政自ら問うなどというのはいけません。

県議員研修会

2つのゆがみ正し、極右排外主義との闘いを

8月20日、愛知県夏期地方議員研修会が行なわれました。

すやま初美参議院候補からは、選挙のお礼と排外主義を闘う日本共産党に新たなつながりが生まれており、正論を広げて闘う時との決意表明がされました。

参議院選挙の結果、日本共産党が議席を減らしてしまいましたが、自民党公明党を少数に追い込んだことへの確信と、歴史的岐路における日本共産党の役割への確信をつかもう。と決意しました。

県内の半田市議、春日井市議、新城市議からは4月に行われた中央の「第2回地方議員研修交流講座」に参加した感想が報告されました。

「共産党の名前を変えたら」の声に、党の歴史や理念を語り共感を広げることとは、多数派をつくるうえで第1級の課題と報告がありました。



学ぶ県下の地方議員
左写真)と、決意を
述べるすやま初美さん
右写真)



小池市長は、
市民に内緒
が前提か？

小池市長は、肝心なことは議会です。市民に内緒で重要なことを進めるつもりでしょうか。市民はそんなつもりで市長を選んだわけではありません。

戦後80年 靖国参拝 政治家の歴史偽造を許さない

碧南市議会でも歴史歪曲

戦後80年、戦場で戦った兵士の生存者がごくわずかとなり戦争体験世代の政治家も減るなか、日本の植民地支配と侵略戦争を美化する新たな動きが起きています。国会議員が、日本軍の南京虐殺を公然と否定するなど、看過できません。政治家による歴史の偽造を止める必要があります。

碧南市でも6月議会で長崎章浩（ながさき あきひろ）維新の会）が、歴史歪曲の質問を行ないました。

前代未聞参政党全議員が靖国参拝

15日、現役閣僚2人のほか自民党保守派や超党派の議員連盟、自民、維新、国民民主、参政、日本保守など）の国会議員が靖国神社を参拝。

参政党は国会議員18人全員と地方議員合わせて88人が集団参拝しました。

これらの政治家が「口にしているのは、国策に殉じた」「尊い犠牲」への「尊崇の念」です。参政党の神谷宗幣代表は「国を守るため、みんなを守るために戦われ尊い命を失った方々」への「感謝と追悼」だとのべました。

侵略だと認めない

しかし、先の戦争は中国・アジアへの侵略戦争です。国を守るため、みんなを守るため」の戦争ではありません。

これらの政治家の発言の根底にあるのは、日本の行った戦争を侵略戦争だと認めない誤った歴史認識です。

不戦の誓いこそ

参政党神谷氏は那覇市での街頭演説（6月23日）で、日中戦争について「（日本は）中国大陸の土地なんか求めてない。日本軍が中国大陸に侵略していったのはうそだ」中国側がテロ工作をしてくるから自衛戦争としてどんどん行った」とのべました。しかし、中国が日本に攻めてきたわけではありません。朝鮮を植民地化した日本がさ

らに中国に侵攻し、中国の領土に満州国という傀儡（かいらい）国家をつくり、開拓団を送って中国農民の土地を奪い、中国国民に残虐行為を行ったのです。日本の侵略に抵抗した中国側こそが自衛の戦いでした。

80年談話で再発防止を

戦後50年の「村山談話」は日本の植民地支配と侵略」を疑うべくもない歴史の事実と認めました。しかし、戦後70年の安倍晋三首相（当時）の談話は、日本の植民地支配と侵略戦争に触れず、日露双方が朝鮮や中国東北部の支配を争った侵略戦争である日露戦争を称賛しました。

戦後80年の今年こそ、侵略戦争のあやまちを認め、再発防止の要である日本国憲法9条を、掲げ世界に不戦の誓いを示すべきです。

無残な戦死を美化

安倍氏ら、日本の侵略戦争に無反省な勢力が政治の中枢を占め、教科書の歴史記述にも介入してきたことが、参政党ら侵略否定の極右的潮流につながっています。歴史の事実に対する参政党の発信がSNSなどで力を持ちかねないだけに、歴史の偽造を許さない取り組みが求められます。

侵略戦争の美化を許すな

日本軍兵士は、天皇制政府の誤った国策で無残な死を遂げた犠牲者でもあります。しかし、それを「尊い」と美化することは、いまの戦争する国づくり」のなかで、誤った国策のために死ぬことを肯定・推奨することです。

歴史の逆流を許さない

そもそも靖国神社は、国民が戦死をいとわないための精神的支柱でした。戦争犠牲者でも、空襲や原爆の犠牲者など、軍人・軍属以外は祭られていません。戦争犠牲者追悼・不戦の誓いの場所



はなく、いまも日本の行った戦争を「アジア解放」の戦争だとする侵略戦争肯定の施設です。政治家の侵略戦争美化を厳しく批判し、対峙（たいし）していかなければなりません。

<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。



日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

**大軍拡・大増税許すな
へきなん 19行動**
9月19日（金曜日）
午前11時～12時
ピアゴ碧南東店
碧南市東浦町6-17
（日進小学校南）